



「おいしそうでしょ」ミニトマト

あいかわ保育園の園児たちが5月27日、鷹巣農林高校へ遠足に出かけました。最初に高校生の農作業実習を見学。リンゴの花の剪定作業に、「なんでお花を取っちゃうの」と質問。高校生は「大きいリンゴを作るためだよ」とやさしく説明していました。続いてミニトマトを収穫。このミニトマトは土ではなく、栄養分を含んだ水で栽培していて、とても甘いそうです。最後に牛舎へ移動。牛を見て「でっけー牛さんだ」と大きさに驚ろきながらも草を食べさせ満足気でした。お昼には、お母さん手作りのお弁当と一緒に自分で収穫したミニトマトも食べました。

ミニトマトがぐいぐいよ あいかわ保育園の遠足

昭和62年に設立された「東京圏あに会」の総会が5月29日、東京上野「ラ・ベルオーラム」において盛大に開催されました。総会では岸部市長が「阿仁地域は資源が豊富。仲間意識が強く阿仁会との絆も深い。今後もご支援を」と述べ、続いて役員改選が行われ、新会長に山本巖氏が選任され、前会長の鈴木俊美氏は名誉会長となりました。懇親会では阿仁から届いたふるさとの料理に舌鼓を打ちながら近況報告や思い出話に花を咲かせました。また、渡部ワカ社中による踊りやカラオケなどで盛り上がり、物産販売コーナーも大好評、最後に全員で「寒い朝」を大合唱、再会を約束し会場を後にしました。

ふるさとなまり(阿仁弁)で話もはずみ 第19回東京圏あに会総会



再会を楽しみ思い出話に花が咲きました



ぼくたちわたしたち「交通ルール」を守ります

前田保育園が主催する交通安全教室が5月23日、北秋田警察署前田駐在所の澤田真巡查長を招いて行われ、園児たちが正しい横断歩道の渡り方を学びました。警察官と婦人警官の制服に着替えた園児たちは、澤田巡查長からの「横断歩道の渡り方は」の問いかけに、「右を見て左を見て手を上げて渡ります」と元気に答えていました。その言葉どおり、横断歩道では全員きちんと渡ることができて全員合格です。普段は、一人で横断歩道を渡る機会の少ない園児たちですが、この教室で学んだ交通ルールを守りますので、ドライバーの皆さんもやさしく見守ってください。

小さなおまわりさんが登場です 前田保育園交通安全教室



木遣唄とともに340キロの礎石を埋納場所に搬入

森吉山ダム建設工事の本格化を祝うと共に悠久の無事を願う「森吉山ダム定礎式」が6月4日、関係者や地権者など約400人が出席し、挙行されました。式典は、ダム工事現場を会場に工事請負者主催の「修祓(しゅうぼつ)式」、国土交通省東北地方整備局主催の「現地式典」と森吉総合スポーツセンターで行われた「会場式典」、そして、森吉山ダム建設促進期成同盟会主催の「祝賀会」となりました。現地式典に先立ち旧森吉町の小学生による鼓笛隊の演奏で花を添えると、木遣唄が山間に響き、重さ340キロの黒御影石でつくられた礎石が工事関係者によ

悠久の無事を祈願、23年の完成を目指す

森吉山ダム定礎式挙行



盛り立て材を礎石の基礎に入れる「鎮定の儀」

り式場へ搬入されました。秋田県発展の根幹施設として繁栄することを祈念した定礎宣言に続き、「鎮定(ちんてい)の儀」等が行われ、礎石がダム本体に納められました。続いて、万歳三唱と同時にくす玉開披、下流域の小学生が参加して風船が上げられ、盛大に定礎を祝いました。森吉山ダムは、昭和47年の大洪水を契機にその建設に向けた気運が高まり、昭和48年には調査事務所を開設、平成3年に一般補償基準の妥結、平成6年に付替道路工事に着手。そして、平成14年3月に本体工事を契約し、現在の本格工事となり、平成23年の完成を目指して事業が進められています。



木枠におもしを乗せて水の勢いを弱める「川倉工」

豪雨直撃を想定し、水防技術を習得

大館・北秋田地区水防訓練

米代川河川敷で6月6日、平成17年度大館・北秋田地区水防訓練が行われ、各市町村の水防団員約200人が参加しました。この訓練は、出水期にあたり、水防機関の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図り、地域住民に対する水防の重要性についての認識を高め、理解と協力を得ることを目的に毎年実施しています。団員は、豪雨直撃による米代川の氾濫を想定し、水流で堤防が崩れるのを防ぐ工法や堤防を越水する恐れがあるときなどの水防工法の技術習得に努め、汗だくになりながらきびきびと訓練に臨んでいました。